

生徒指導 を機能させるには

富士市教育委員会学校教育課
教育指導室 野村 直樹
吉田 博紀

Aさんの言い分

朝、体調が悪かったのに
母親から「大丈夫だから学
校に行きなさい」と言われて
学校に来た。

母親の対応に納得でき
ない。

事例

正門付近で登校してくる
子どもたちにあいさつを
していると、小学5年男子
Aさんが“暴言”を吐きなが
ら登校してきました。

「どのように対応しますか？」

教師の対応例

- ① 静かな場所へ移動
- ② 落ち着くまで待つ
- ③ 「何があったの？」
- ④ 「なるほど」(共感的理解)
- ⑤ 「これからどうしたい？」
(自己決定)

子どものどこを見るのか

誰でも何らかの目的をもって行動している

【Aさんの目的例】

「自分の体調を気遣ってほしい」



行動の真の目的に目を向ければ
対応方法が見えてくる

5

「対応」への前提条件

「子どもへの対応をうまくやろう」
ではなく...

「まず、信頼と尊敬を得よう！」



「指導力」だけでなく
「人間性」を磨くこと！

7

留意点

- ① 子どもの行動の目的自体が間違っているなら目的を修正
- ② 行動の目的は正しくても行動が間違っているなら行動を修正

※Aさんは、目的は正しいが、行動(暴言)が間違っている。

6

話を聞いてほしい・認めてほしい

【信頼・尊敬されない教師(例)】

- ・話を聞いてくれない
- ・自分を認めてくれない



【信頼・尊敬される教師(例)】
話を聞いて、それを認める

※「ほめて伸ばす」への疑問

8

「ほめられる」の落とし穴

【前提】「ほめられる」は、滅多にないプラスの出来事に対する頻度の少ない感情表現



- ・わざとほめていると感じ取る
- ・慣れにより、ほめられることが当たり前に…
- ・ほめられることそのものが目的に…

9

聞き取る前に・・・

- ・できるだけ、早く
- ・可能な限り、複数で
聴取と記録の分担、担当振り分け
聞き取る場所、タイミング、順番
- ・被害を訴える子供 ▶ (目撃者) ▶
「加害者」の順で
- ・子供を1人にしない

「ほめる」から「認める」に変換する

- ① 子どもがやったことをそのまま認める
- ② 子ども自身の努力や工夫を認める
- ③ 子どもから聞き出して、そのことを認める

10

聞き取る時のポイント

- ① 大まかなこと「それで？、それから？」
(本人に自由に語ってもらう)
- ② 時系列に細かく (5W1H)
 - ・いつ、誰が、どこで、何を、なぜ、どのように、頻度、回数
- ③ 言い足りないこと、事案の前後の
気がかりな出来事の確認
- ④ 他言しないように伝える

被害者への聞き取りで大切なこと

- ・被害者のふり？
- ・他者への聞き取りについての確認
- ・保護者への連絡について確認
YES ▶ ①家庭訪問②来校③電話
NO ▶ 理由を聞く

加害者への聞き取りで大切なこと

- ・指導や注意はしない
- ・被害者の聞き取りに基づく事実確認
- ・行為の理由「なぜ、どうして？」
加害者には言い分が必ずある